



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社 ロイヤルホテル  
コード番号 9713 URL <https://www.rihga.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田 文一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 坊傳 康真

TEL 06-6448-1121

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,435	15.4	35		7		80	
2023年3月期第2四半期	11,149	74.6	2,492		1,783		1,807	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 53百万円 ( %) 2023年3月期第2四半期 1,786百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	5.27	
2023年3月期第2四半期	176.44	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	30,513	18,888	61.9
2023年3月期	32,105	18,942	59.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 18,888百万円 2023年3月期 18,942百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	16.7	500		200		100	99.2	9.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	15,303,369 株	2023年3月期	15,303,369 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	29,835 株	2023年3月期	29,650 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	15,273,640 株	2023年3月期2Q	10,242,133 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものです。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期(予想)			—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(収益認識関係) .....	8
3. 補足情報 .....	9
連結 部門別売上 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行され、経済活動が正常化し緩やかな回復の兆しが見られました。一方、長期化するウクライナ情勢や円安による原材料・エネルギー価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、インバウンド需要の増加や経済活動の正常化などによる人流の回復により、消費動向には持ち直しの動きが見られるものの、原材料費・光熱費をはじめとした各種コストの上昇により、引き続き厳しい事業環境下に置かれております。

こうした環境下、当社グループは2023年3月31日に実施したリーガロイヤルホテル（大阪）の土地、建物の信託受益権等の譲渡、ベントール・グリーンオーク・グループとの資本業務提携後も、「生産性と業務効率の向上」を柱に、「ホテルビジネスの再構築」、「マーケティング力の強化」、「人事運営の改革」に取り組んでまいりました。

「ホテルビジネスの再構築」の一環として、2023年4月に京都市内に3軒目となる新ホテル「リーガプレイス京都 四条烏丸」を開業いたしました。地下鉄「四条」駅から徒歩2分と交通利便性に優れ、観光・ビジネスの拠点として便利な宿泊主体型のホテルです。また、同月に外部出店レストランとして、大阪大学中之島センター内に「カフェテリア・アゴラ」、「サロン・アゴラ」をオープンいたしました。

2023年9月には沖縄県北谷町美浜のホテルへの新規出店を発表いたしました。沖縄県内で2軒目となる当ホテルは、当社グループでは初のコンドミニアムタイプのホテルとなり、2026年春の開業を予定しております。当社の培ったホテル運営ノウハウを活かし、観光のお客様の拠点として、また地域のお客様の憩いの場として、当社ならではの質なおもてなしをお届けいたします。

「マーケティング力の強化」の一環として、2021年4月から開始した会員サービス「リーガメンバーズ」においては、販売促進の施策を当社グループ全体で展開し、2023年9月には会員数が30万人を突破いたしました。

「人事運営の改革」については、全社員を対象としたベースアップを行い、処遇の改善を実施いたしました。さらに、より働きやすい職場づくりのため「健康戦略マップ」を策定、従業員のワークライフマネジメント支援策を実施すると共に、ダイバーシティ推進を主な目的としたプロジェクトチームを発足させ、様々な新しい取り組みを推進いたしました。また、インバウンドを始めとした回復基調にある需要を最大限取り込むため、新規採用・中途採用・外国人採用等の活動を強化いたしました。

このように、今後の収益拡大施策を進めながら足元の需要回復に対応し、収益の改善に注力してまいりましたが、リーガロイヤルホテル（大阪）の土地、建物の信託受益権等の譲渡と同時に運営受託契約を締結したことにより収益構造が大きく変化したため、当第2四半期連結累計期間の売上高は、9,435百万円と前年同期比1,713百万円（15.4%）の減収となりました。

損益面では、営業損失35百万円（前年同期は営業損失2,492百万円）、経常損失7百万円（前年同期は経常損失1,783百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は80百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,807百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,592百万円減少し30,513百万円となりました。内訳では流動資産が同1,563百万円減少し15,741百万円となりました。これは収益構造が大きく変化したことにより売上高が減少したこと及び消費税の支払い等により、現金及び預金が2,913百万円減少したこと等によります。固定資産は減価償却等により同28百万円減少し14,771百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,538百万円減少し11,624百万円となりました。これは未払消費税等が971百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ54百万円減少し18,888百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等によります。これにより自己資本比率は、前連結会計年度末の59.0%から61.9%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績につきましては、2023年5月12日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,363	11,450
売掛金	2,045	1,256
原材料及び貯蔵品	307	310
その他	590	2,726
貸倒引当金	△0	△2
流動資産合計	17,305	15,741
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,058	6,064
減価償却累計額	△5,737	△5,755
建物及び構築物（純額）	320	308
リース資産	346	346
減価償却累計額	△264	△286
リース資産（純額）	82	60
その他	1,929	1,837
減価償却累計額	△1,518	△1,407
その他（純額）	410	430
有形固定資産合計	812	798
無形固定資産		
ソフトウェア	264	232
その他	1	1
無形固定資産合計	266	234
投資その他の資産		
匿名組合出資金	1,500	1,492
差入保証金	11,916	11,916
繰延税金資産	2	6
その他	311	333
貸倒引当金	△11	△10
投資その他の資産合計	13,720	13,738
固定資産合計	14,799	14,771
資産合計	32,105	30,513

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	726	373
契約負債	607	610
賞与引当金	388	417
その他	3,665	2,625
流動負債合計	5,387	4,026
固定負債		
繰延税金負債	19	28
退職給付に係る負債	5,330	5,196
長期預り金	2,357	2,329
その他	68	43
固定負債合計	7,774	7,597
負債合計	13,162	11,624
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	10,342	10,342
利益剰余金	8,591	8,511
自己株式	△61	△62
株主資本合計	18,972	18,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	69
退職給付に係る調整累計額	△76	△72
その他の包括利益累計額合計	△29	△2
純資産合計	18,942	18,888
負債純資産合計	32,105	30,513



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	11,149	9,435
売上原価	2,399	1,423
売上総利益	8,750	8,012
販売費及び一般管理費		
水道光熱費	1,137	706
人件費	4,914	3,418
諸経費	5,191	3,924
販売費及び一般管理費合計	11,243	8,048
営業損失(△)	△2,492	△35
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	3	3
ポイント失効益	9	25
雇用調整助成金	622	-
協力金収入	220	-
その他	29	9
営業外収益合計	885	39
営業外費用		
支払利息	174	-
匿名組合投資損失	-	7
その他	2	5
営業外費用合計	176	12
経常損失(△)	△1,783	△7
特別損失		
固定資産除却損	12	29
減損損失	7	42
特別損失合計	20	72
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,804	△80
法人税、住民税及び事業税	6	6
法人税等調整額	△3	△5
法人税等合計	3	0
四半期純損失(△)	△1,807	△80
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,807	△80

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,807	△80
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	21
退職給付に係る調整額	31	4
その他の包括利益合計	20	26
四半期包括利益	△1,786	△53
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,786	△53

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
客室	3,330	3,489
宴会	3,631	2,089
食堂	2,334	1,345
その他	1,426	2,384
顧客との契約から生じる収益	10,723	9,309
その他の収益	426	126
外部顧客への売上高	11,149	9,435

(注) 「その他の収益」は、リース取引に関する会計基準に基づく不動産賃貸収入等であります。

## 3. 補足情報

## 連結 部門別売上

(単位 金額：百万円、構成比：%、増減率：%)

部 門	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		比 較	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減	増減率
客 室	3,330	29.9	3,489	37.0	158	4.8
宴 会	3,631	32.6	2,089	22.1	△1,542	△42.5
食 堂	2,334	20.9	1,345	14.3	△988	△42.3
そ の 他	1,852	16.6	2,511	26.6	658	35.5
合 計	11,149	100.0	9,435	100.0	△1,713	△15.4

(注) 1. 受注生産は行っておりません。

2. なお、リーガロイヤルホテル(大阪)の土地、建物の信託受益権等の譲渡と同時に運営受託契約を締結したことにより収益構造が大きく変化したため、同ホテルの客室、宴会、食堂部門分の売上高が減少しております。前第2四半期連結累計期間から上記の売上高を差し引いた金額に組み替えた連結部門別売上(同条件比較)は、次のとおりであります。

## 連結 部門別売上(同条件比較)

(単位 金額：百万円、構成比：%、増減率：%)

部 門	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		比 較	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増減	増減率
客 室	2,058	35.2	3,489	37.0	1,430	69.5
宴 会	1,435	24.6	2,089	22.1	653	45.5
食 堂	1,131	19.4	1,345	14.3	214	19.0
そ の 他	1,214	20.8	2,511	26.6	1,296	106.8
合 計	5,840	100.0	9,435	100.0	3,595	61.6

(注) 上記前第2四半期連結累計期間に係る同条件比較数値については、監査法人による四半期レビューの対象外です。